

どの資格を有し一定の研修を経た専門性の高い相談員が、的確な受付対応や相談等を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県 2 / 3 負担 (国 1 / 3 補助)
- ・ 県内全域への事業であるため、県負担が妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託費	8,960	S N S 相談受付業務等
報償	26	岐阜県 S N S 相談検討会議講師等報償
旅費	14	検討会議、相談員研修会等参加旅費
合計	9,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 第3次岐阜県教育ビジョン
基本方針 2 多様な学びを支援する教育体制の充実
目標 10 いじめ等の未然防止と早期発見・早期対応の徹底

(2) 国・他県の状況

- ・ 文部科学省「いじめ対策・不登校支援等総合推進事業」

(3) 後年度の財政負担

- ・ 文部科学省補助事業（「いじめ対策・不登校等総合推進事業」）を活用予定

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・ S N S 相談システムの構築には専門的な知見が必要、かつ相談で得られた大量のデータを分析する必要がある。また、S N S 相談の対応者は、通常の相談に関する知識・技術に加え、S N S 相談に特化した専門性が求められるため、専門研修を受けた相談員が対応しなければならないことから、専門の業者に委託することが最適である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

- | | |
|-------------------------------------|--------|
| <input type="checkbox"/> | 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
県内の高校生・中学生段階の生徒が抱える様々な悩みに寄り添い、支援するため、SNSを活用した相談を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H29)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
						達成率
相談対応率		99.9%	100%	100%	100%	99.9%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等） ・「子供SNS相談@岐阜2020」実施 開設期間：令和2年5月6日（水）～6月12日（金） 令和2年8月14日（金）～8月27日（木） 令和3年1月4日（月）～1月13日（水） 受付時間：上記開設期間の午後5時～9時 対象者：県内の中学生、高校生段階の生徒本人 活用ツール：LINE ・学識経験者をメンバーに加えて、SNS相談に関する会議を開催し、事業実施方法等について協議した。
令和 3 年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>携帯電話の所有率は、中学1年生が54.4%で、学年を追うごとにこの割合は増加し、高校3年生では98.0%となっている（令和2年度調査結果）。生徒を含む若年層は、主に携帯電話端末のSNSを使用して、コミュニケーションをとっている。この手段を利用して、生徒が安全に相談できる場を確保することは有効であり、本事業は必要である。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：まだ期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 3	<p>SNS相談は生徒が利用しやすいことから、生徒が抱える様々な悩みをより多く受け付けることができ、不登校、いじめや暴力行為等の問題行動の未然防止、早期発見・早期対応が期待できる。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	<p>相談の実施については、専門業者に委託することにより、またSNS相談に係る検討会議では実施方法等を検討することで、効率化を図っている。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 予算や人材確保の観点から、持続可能な相談体制、より効果的で効率的な相談等について、さらに検討する必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今年度の実績をもとに、最適な相談期間や相談時間、相談席数等について改善を加えて実施する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	

